

- 5 青少年教育指導者等の養成及び資質の向上に関する事業
ウ ボランティア養成・研修事業
c ボランティアによる自主企画事業

タラッキーDAY キャンプ第4回
～めざせ！自然マイスター！～

〔主催〕 国立諫早青少年自然の家
〔期日〕 令和6年12月8日（日）
〔活動場所〕 国立諫早青少年自然の家
〔参加者〕 小学1～4年生 24名
〔担当職員〕 貞方 貴衣、西田 尚由、小柳 響生

1) 事業の趣旨

非日常の中の自然に親しみ、年齢や性別に関係なく参加者が交流できるようにする。また、自分のことは自分ですることによって児童一人ひとりの自立心を育てる。また、様々な活動を通して何事にも挑戦する力を培うことを目指す。

2) 目標

- ① みんなで仲良く自然を楽しむ。
- ② 自分のことは自分でする。
- ③ たくさんチャレンジしよう。

3) 研修プログラム

②12月8日（日）	
9:30	受付
10:00	開会式 仲良くなるゲーム【写真①②】
10:30	ビンゴオリエンテーリング【写真③④】 昼食（持参）
14:30	振り返り【写真⑤⑥】
15:00	閉会式
15:15	解散

4) 事業展開

① 仲良くなるゲーム



② 仲良くなるゲーム



じゃんけんをテーマにしてアイスブレイクを行った。手だけではなく、全身を使ってじゃんけんをしながら交流を深めた。緊張していた参加者も、ゲームをするにつれて笑顔になり、参加者同士での会話も増えた。穏やかな雰囲気を作ることができた。

③ ビンゴオリエンテーリング



④ ビンゴオリエンテーリング



法人ボランティアで考えた自然にまつわるミッションを組み込んだビンゴシートをもとに、オリエンテーリングを実施した。道に迷う場面もありながらも、班の仲間と話し合い、協力しながらミッションをクリアすることができた。また、寒空のなか、元気いっぱいとはつらつと活動する姿が見られた。

⑤ 振り返り



⑥ 振り返り



振り返りでは、ストーリー性を持たせた活動のまとめを行った。一日の活動の感想をもとにした俳句を作り、全体に発表した。感想を伝え合うだけではなく、俳句を発表することで班の仲間との話し合いの場面が生まれ、最後まで協力して活動を行うことができた。

5) 評価

① アンケート結果（事業全体に対する満足度）

満足	やや満足	やや不満	不満
95%	5%	0%	0%

② 参加者の声

- ・楽しすぎて感想が書ききれない。
- ・また来たいと思った。

③ 企画した法人ボランティアの声

- ・事業を「1」から作り上げることの大変さを学びました。考えていくたびに新たな気づきや意見が出てきて、とても勉強になりました。
- ・来年の自主企画では中心メンバーの一人としての自覚を持ち、今年よりもさらに子どもが安全に楽しく自然と触れ合うことができるような企画を考えられるよう、今回の反省を生かしていきたい。

6) 成果と課題

① 成果

- ・法人ボランティアの自主企画事業として実施するために、役割分担を明確にし、それぞれの強みを生かしながら企画することができた。そのため、参加者にどのように説明するかなど、とても細かいところまで考えることができ、当日は参加者もスタッフも楽しんで事業参加・運営することができた。
- ・時間配分に余裕があったため、スムーズに運営することができ、参加者の満足度も高かった。

② 課題

法人ボランティアの事業として実施したが、今年度は通年事業のうちの1つを企画する形をとったため、企画自由度に制限があった。

今後、ボランティアの力をより発揮できるような企画の枠組みについて、所内及び、ボランティアの方々と相談しながら考えていく必要がある。自主企画としてチャレンジしたいことが実施できるような手立てを引き続き考えていきたい。